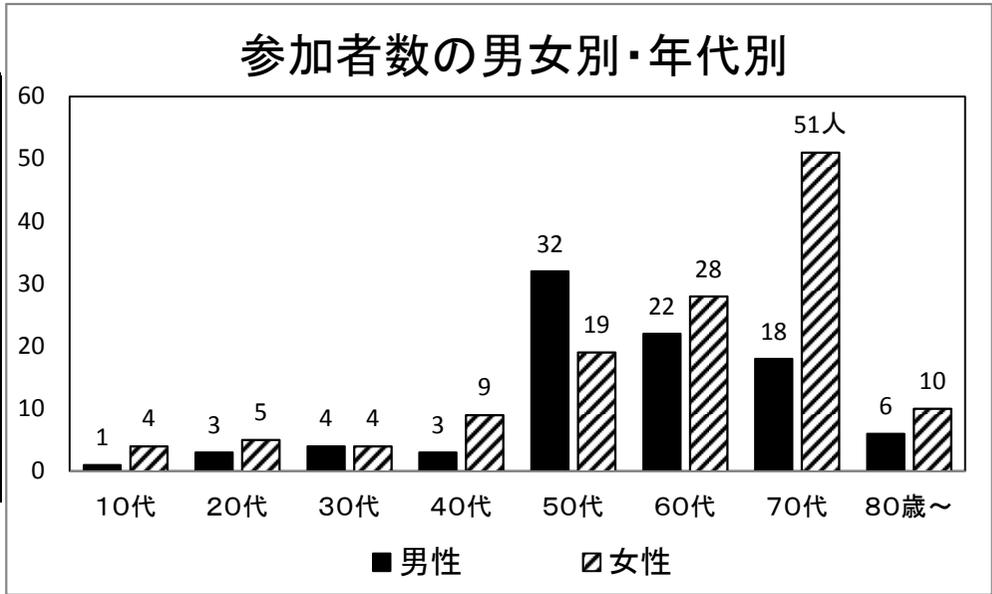


H28年2月11日 『健康で安心して暮らせる米子のこれから』アンケート集計結果 (合計 227件)

参加者人数	男性	女性	性別無記入
10代	1	4	
20代	3	5	
30代	4	4	
40代	3	9	
50代	32	19	1
60代	22	28	1
70代	18	51	3
80歳～	6	10	1
年齢無記入		2	



住まい

	人数
市内	193
市外	30
無記入	4

227

フォーラムについて

	理解できた
はい	211
いいえ	4
無記入	12

227

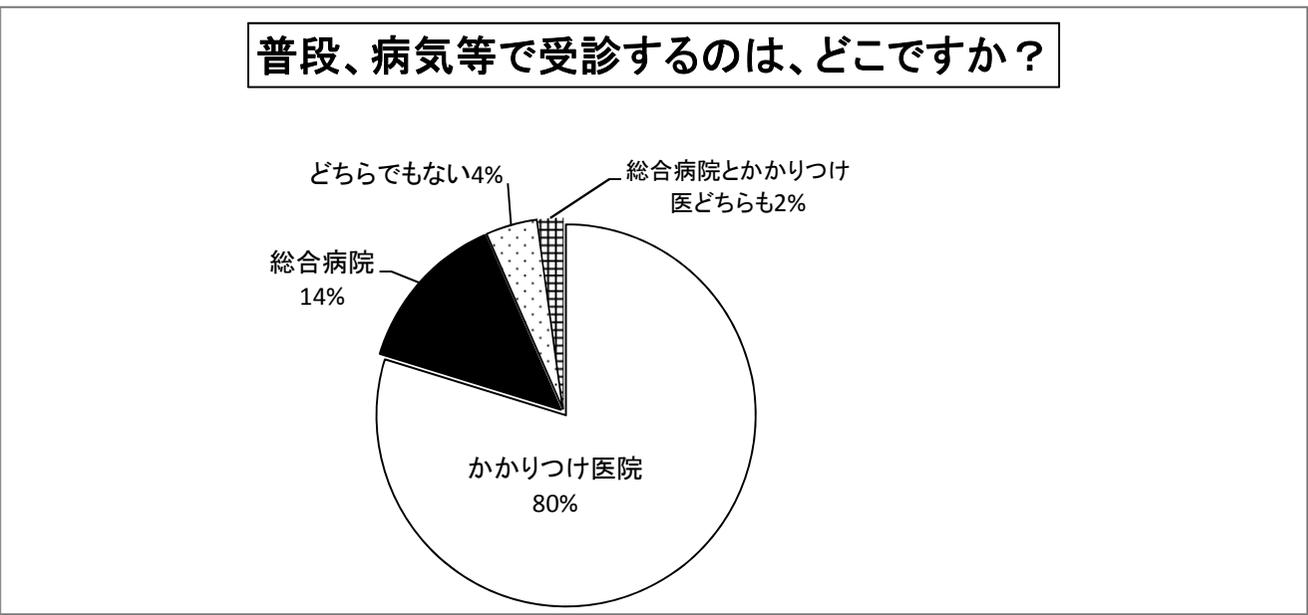
	必要性高まる
はい	216
いいえ	5
無記入	6

227

あんしん手帳

	活用できる
はい	196
いいえ	10
無記入	21

227



診療

	普段の診療	
かかりつけ医院	181	80%
総合病院	31	14%
どちらでもない	10	4%
どちらも	5	2%

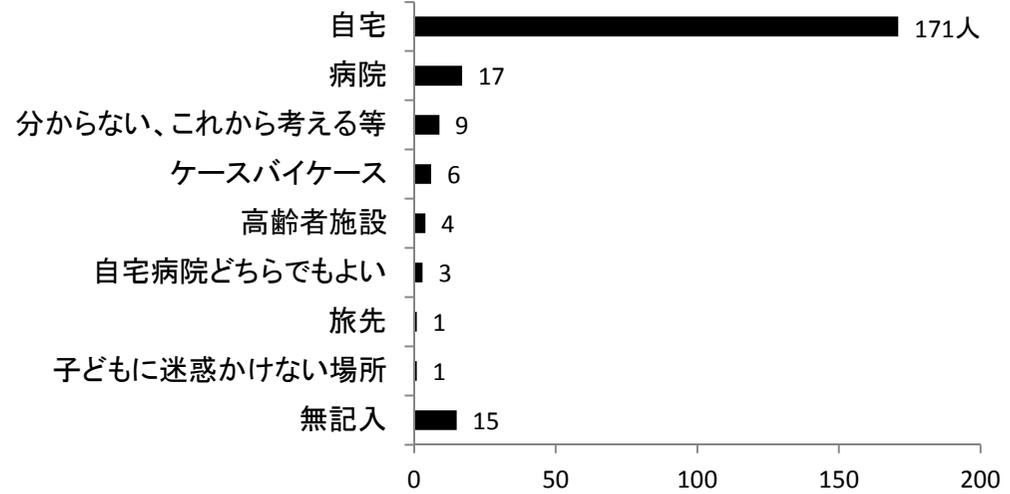
227

希望

	人生の最期	
無記入	15	6.6%
子どもに迷惑かけない場所	1	0.4%
旅先	1	0.4%
自宅病院どちらでも	3	1.3%
高齢者施設	4	1.8%
ケースバイケース	6	2.6%
分からない、これから考える等	9	4.0%
病院	17	7.5%
自宅	171	75.3%

227

人生最期を迎えたい場所



自由記載

- ・笑顔でいる人は長生きするというのが印象的でした。私は高齢者の笑顔を考えながら、皆が1%でもいいから他人のことを考えられれば良い社会になると考えます。(10代 男性)
- ・教育に力を入れて欲しい。(勉強も心も) (20代 女性)
- ・皆が自分が健康だと思えるようになることが大切。(20代 男性)
- ・一人一人を尊重することが大切。(20代 女性)
- ・健全者、若い人の意識改革(体が元気な人はあまりこのようなテーマを考える機会が少ないので) 子供の頃からの教育が大切だと思います。(30代 女性)
- ・日頃から、死ぬことを考えること・話すこと が必要だと野坂会長がおっしゃっていて、今回の小笠原先生のような講演を、数多く開催されることを望みます。参加して良かったです。(30代 女性)
- ・とても勉強になりました。素晴らしい企画だと思いました。(30代 男性)
- ・高齢者のこと、障がいのこと、子供のこと、それぞれ関心を持った人しか実情を知らない。無関心の人に、いかに関心を持たせるかが大切。まずは「知る」こと。「知ってもらう」こと。(30代 男性)
- ・産業拡大、人口増による税収アップ。 人生の最期を選択をサポートする人、機関がたくさんあることを広報することが必要。(30代 男性)
- ・共感・理解・受容が必要。(40代 男性)
- ・米子市内で、自宅で最期を迎える時はどうなるの？事例、具体的イメージを知りたい→安心出来る。どんな選択肢があるのか。(40代 女性)
- ・挨拶や地域のコミュニケーションなどの復活が大切。(40代 男性)
- ・核となる機関か、人を中心としたネットワークが築けることが必要。(50代 女性)
- ・小笠原先生の講演は特に良かった。またじっくり聴きたい。(50代 男性)
- ・より多くの業種の方が集まれる会とすることがベストでは。(50代 男性)
- ・在宅医療の充実が人の最期を幸福にし、家族の負担も軽減できる。地域で見守ることが日常的にできる環境整備が必要。意識・ケア一体化への援助・行政・企業・地域住民との連携がもっと進んでいくことが必要ではないでしょうか。そんな米子市であって欲しい。(50代 男性)
- ・小笠原先生のお話、良かったです。もっと米子市はグイグイやるべきだ。(50代 男性)
- ・死は誰にでも訪れるもので、人生の最期をどのように迎えるのか考えさせられる問題。それを自分で選択できる仕組みや支援体制が必要だと感じた。(50代 男性)
- ・信頼できる支援、支援を支える制度、制度を支える人、が必要。(50代 男性)
- ・病院介護サポート体制の充実が必要。(50代 男性)
- ・教育が必要。(50代 男性)
- ・在宅医療に関する相談場所はどこでしょう。(50代 男性)
- ・人間は老いたら死ぬということを、子や孫が理解できるような支援が必要。小笠原先生の講演をもっと若い人にも聴いてもらいたかった。(50代 女性)
- ・「かかりつけ医」という考えをもっとしっかり啓発していくと良いと思う。訪問看護のチームには医師・看護師・保健師の他に、歯科医・療法士・栄養士・心理カウンセラー等々、さまざまな業種で力を合わせて取り組んで欲しいと思う。(50代 女性)
- ・地域のつながりが必要。(50代 女性)
- ・小笠原先生のお話、とてもグッとくるものがありました。やや時間が足りなかったでしょうか。(50代 女性)
- ・在宅介護の体制づくりが必要。介護職の待遇を良くして、良い人材を多数確保していくべき。そこを安価に抑え、外国人雇用に流れたりするのは愚の骨頂。介護負担も過大にならないようにすべき。真にその為の増税なら理解は得られる。(50代 男性)
- ・小笠原先生の講演を聴き、一人暮らしでも住み慣れた自宅で最期を迎えられる可能性があること知り、とても有意義でした。
- ・教育が必要。(50代 女性)
- ・近所付き合いとか、人の為に自分は何が出来るかなど、考える人が増えればいい。

(50代 男性)

- ・
 - 1. 最低年金額の設定 及び 給付(生活保護基準以上)
 - 2. 医療保険料 及び 介護保険料の引き下げ
 - 3. 2について公費投入
 - 4. 3の財源として消費税20%超まで引き上げる。 (50代 男性)
- ・近所のつながり、村・町のつながりが必要。大変楽しいフォーラムでした。(50代 男性)
- ・もっと同様なシンポ等を頻繁に開催して欲しい。(50代 男性)
- ・手と目で見ると。認知症は関係で変わる。(50代 女性)
- ・小笠原先生の話、もっと聴きたかったです。(50代 女性)
- ・「どうせ死ぬんだから・・・」 ビシビシ心に響くお話でした。これからの仕事に活かすヒントがたくさんありました。(50代 女性)
- ・病気や介護が必要になった時、支援体制があつて、機動的であつて、対応できる仕組みを希望します。また、経済的負担を減らして欲しい。年金でまかなえる範囲内に。(60代 男性)
- ・【生活サービス(民間・行政)～医療～福祉】 相互の連携が大切。その為の人材育成、仕組みづくりが必要。(60代 男性)
- ・今まで聴いたフォーラムの中で一番でした。(60代 男性)
- ・小笠原先生の基調講演は老後を目の前にし参考になった。(60代 女性)
- ・4世代が一緒に住む生活でした。13年前、85歳で母が我が家で亡くなりました。本当の最期を見つけたのは当時3歳になる前の私の孫でした。しっかり記憶にあるようです。いい経験をしたと改めて感じました。母も大好きなひ孫と一緒に居ることができ、笑顔でした。(60代 女性)
- ・小笠原先生のお話を聴いて、毎日の生き方を本当に大切にしようと思いました。そして自分が死を迎える時、死に対しての恐怖がなくなるような気がしました。日頃の生活に笑顔を忘れないようにしたいです。(60代 女性)
- ・三題とも、とても興味深く楽しませて頂きました。小笠原先生の本を読ませて頂き、希望がたくさんふくらんで、夫を誘い本日を楽しみにしていました。人間の命の不思議さ、源に気づかされました。最高です！大好きです！！ (60代 女性)
- ・地域との関わりが必要。(60代 男性)
- ・「ひとりで家で死ぬますか」 大変おもしろかったです。その時ファンになりましたが、市のイベントでお話が聴けるとは思ってもいませんでした。良かったです。自宅や地域で、訪問診療、訪問看護、ヘルパーさんなど、いろいろ利用して最期を迎えることを聴衆の多くが考えたと思います。(60代 女性)
- ・地域による見守りなどのケアが大切だと思います。(60代 男性)
- ・「支え合い」を行政も力を入れるべきだと思います。それには、各自治会で行っている支え合い活動に経費面で支援が必要だと考えます。(60代 男性)
- ・高齢化、看取り等に関して一緒に暮らしていた家族は、本人の気持ちを尊重しようとしても、他の家族の反対があると自宅での看取りは難しいと聞いている。今日頂いた「あんしん手帳」が本人の意思表示になればいいと思います。父は「家で」と私に言い続けた為に、看取りの勉強会にも参加したが、40年同居していない実弟に全て無視され、父は悲しい最期になりました。(60代 女性)
- ・元気な高齢者を外に引っ張り出す力と、そういう市の催しが必要。(60代 女性)
- ・公平、公正な医療が出来る医療連携チームを作ることが必要。(60代 男性)
- ・ネットワークが大切。(60代 男性)
- ・元気であること。それぞれにあった生き方は違って当たり前。本人が望む「孤独死」は誰のせいでもない。(60代 男性)
- ・95歳の母の為に、自宅で介護を頑張ります。(60代 女性)
- ・自治体協力と実体験を認識。本日の小笠原氏の体験談をよく理解すること。(60代 男性)
- ・かかりつけ医院を持つことが重要。手と目＝看護。 大変有意義な講演でした。(60代 男性)
- ・総合病院とかかりつけ医の連携が必要。(60代 女性)

- ・在宅医療について、小笠原先生の講演が笑いもあり、興味深く聴くことができました。在宅緩和医療が米子でも、もっと広がることを願っています。(60代 女性)
- ・日々運動すると、認知症が防げることを周知する。努力しなくては元気に死ねない。自宅で、病院で、死ぬという前に元気で生きること。それが介護離職者0にもつながる。介護される人を減らすこと。(60代 男性)
- ・地域で寄り添う社会。(60代 女性)
- ・環境の改善→弓ヶ浜公園横の川はドブ川状態です。健康になりたいと散歩に来られる方が多い所をきれいにできませんか？
講演は素晴らしかったです。おもしろく、楽しく死ぬ話が聴けました。私も独居で在宅で死ぬことを考えているので、とても参考になりました。(60代 女性)
- ・共稼ぎ、核家族が増えているから在宅医療の必要性は高まらないと思う。
救急車の利用について、普段からもっとPRしておくことが大切。本当に必要な人が迷惑をすることになる。
2世代、3世代同居の家庭に補助体制を厚くする。(60代 男性)
- ・在宅医療の小笠原先生は色々な事例の発表があり、わかりやすく安心して暮らせる気がしました。(60代 女性)
- ・近隣の住民同士で安否確認が出来る環境づくりが必要だと思います。プライバシー保護が課題になる？(60代 女性)
- ・私は特に、障がいの人が居心地良い社会を作る事が一番だと思う。市民の意識を変える。企業の方も働く場所を作って欲しい。豊かさとはそういうことだと思う。(60代 女性)
- ・「かかりつけ医」を見つけるのが今の私の課題です。
小笠原先生の実例(家で死ぬ)に安心を得ました。「笑顔・暖かくする・よく寝る」実践します。
小笠原先生のような医師が米子にいますか？紹介してください。(60代 女性)
- ・自宅で最期を迎えたいと思います。今までかかっていた医院を変えたいと思います。
米子で往診に力を入れられている先生はどこにおられますか？医療保険には入っているがお金をかけず、楽しく終わりたい。(60代 女性)
- ・愛と平等が必要。(60代 男性)
- ・一人ではなく多くの人と関わっていく。最期を迎える為には、生きている時から死の準備をしておくことが大切だと思います。また、笑うことの効果、人間笑いを失わないように！
(70代 男性)
- ・訪問看護は大切だとわかっていますし、年老いたらお願いしたいのですが、人員が足りるのか心配です。(70代 女性)
- ・在宅医療の大切さ、人づくりの大切さ、笑顔で過ごせる環境。(70代 女性)
- ・米子の開業医で、これから増加する高齢者の自宅を訪問して下さる方が多くはおられないのではありませんか？小笠原先生のような先生がどれくらい米子に居て下さるのですか？
(70代 女性)
- ・小笠原先生の話はおもしろかったが・・・(70代 女性)
- ・少子高齢化の生活となっており、自宅で最期を迎えるのは無理である。
集合住宅、介護施設の充実が求められる。←講演で自宅介護の重要性を認識した。
(70代 男性)
- ・小笠原先生の話は最高。楽しくて、ためになった。目からウロコとはこの事。(70代 女性)
- ・私の地域では地域包括ケアという事で、自治会長と民生委員で何回か会議を行っている。
春には、地域ケアについての機関紙を地域に発行することになっている。少しずつ住民に理解され、サザエさんの家族や地域が見直されれば在宅医療に、より近づけるかなと思います。(70代 女性)
- ・家族で見守り、家で死。やっぱり住み慣れた家は一番。ひとりでもやはり家かな。(70代 女性)
- ・小笠原先生のお話がとても良かったです。(70代 女性)
- ・小笠原先生の話、おもしろく考え方の転換のヒントになった。どのテーマも実のある講演だった。(70代 性別無記入)
- ・「いずれ人は死ぬ」そうです！そうです！笑顔いっぱい生きていきます。
今日は良い日でした。ありがとうございます。医大の先生の話もおもしろかった。
みんなが夢を抱く社会！！すばらしい すばらしい すばらしい！！(70代 女性)

- ・在宅医療について、その良さがわかった。(70代 女性)
- ・近所同志が協力して助け合うことです。(70代 女性)
- ・自宅での最期を迎える時、地区・自治会・隣近所はどのようにすればいいのでしょうか？
(70代 男性)
- ・笑顔で過ごす努力が必要だと痛感した。大きな夢を持って過ごすことが大切。(70代 女性)
- ・当たり前と思って暮らしている日々、生活面・医療・介護等々米子市は全国的に恵まれているというお話に、驚くと共に感謝しました。小笠原先生のお話は、楽しく面白く年を重ねることや生き方を教わった気がしました。(70代 女性)
- ・素晴らしいお話、ありがとうございます。今後自分自身の生き方を考え直したいと思いました。(70代 女性)
- ・生活するにあたり、年寄りには難しい横文字言葉ではない説明・手紙・書類を出して欲しい。
(子供達が遠くに居たり、一人暮らしだったりで鳥取県は全国4位の年寄り県みたいだから)
(70代 女性)
- ・在宅では家族が大変だと思いますが、今回の話で考え方も変わりました。在宅に取り組めるよう考えていきます。(70代 女性)
- ・講演「在宅医療～あなたはどんな生き方を望みますか？」
小笠原文雄博士の講演、ユーモアを入れながらの講演、飽きない。最高であった。
(70代 男性)
- ・今日の講演、とても参考になりました。今自分が死ぬ時がわかるのですね。人には他人にわからない命・無意識があるのですね。神秘的なものが命にはあるのですね。
今日のお話、本当に心底から感動しました。考えを正そうと思うきっかけになりました。
(70代 女性)
- ・自分は今は元気です。子供は三人います。でも、次女が10年前から仕事を辞め、家にいて外にはあまり出ないです。(70代 女性)
- ・近隣の人との交流を、一層深める努力が必要だと思いました。家族の絆「支えられて生かされている」の言葉は深く心に響きました。(70代 女性)
- ・大変楽しく聴き、これからのことを再度考えてみようと思います。(70代 女性)
- ・独居が増えると思うので、地域の活性化、連携が大切。民生委員や見守りの大切さが重要になる。(70代 女性)
- ・在宅死の実現を望みます。(70代 男性)
- ・小笠原先生のお話は、大変為になりました。(70代 女性)
- ・在宅療養が大切であることを感じた。希望 満足 納得 (70代 男性)
- ・とても参考になるお話でした。自分にとってどの道が一番幸せか？(70代 女性)
- ・素晴らしい講演会でした。(70代 男性)
独居高齢者に対する米子市の日頃の支援状況が知りたい。年金暮らしの為、介護されるようになった時の費用が心配。(70代 女性)
- ・在宅でいつまでも暮らせるよう、だんだんバスも範囲を広げて欲しい。祇園町2丁目方面等。
(70代 女性)
- ・老々介護としては、介護する側の年齢も高い為、共倒れしてしまいます。若い年齢だと在宅もいいと思いますが、現在私は79歳、ストレスと共に病気になりそうです。(70代 女性)
- ・在宅医療に対応してくださる方が地域に本当におられるでしょうか。(70代 女性)
- ・笑顔？(70代 女性)
- ・全ての人々に差別のない、安定した生活が出来る社会にしたいですね。いかなる場合も暴力はダメ、あの悲惨な戦争はダメ、現政権は？平和な社会を..皆で頑張りたいですね。
(70代 男性)
- ・楽しい講演で元気が出ました。近所の方にも話します。最期まで明るく暮らしたいと思いました。
(70代 女性)
- ・顔の見えるゆるい関係づくり、仕組みづくりが必要。小笠原先生の本日の講演、映像で市民がいつでも観ることが出来ないでしょうか？ (70代 男性)

- ・地域のコミュニケーション、向こう三軒両隣のつながりの必要性を再認識しました。
(70代 男性)
- ・小笠原先生に看取って欲しいと思った。米子にそんな先生いますか？
在宅医療はいいが、お金が必要。どれだけ必要か調べ、聞いてみたい。
姉の娘にも聞いてみたい。姉90歳、脳出血で在宅療養中(娘夫婦が介護)。
私は一人暮らし。自分のことを考えました。(70代 女性)
- ・解りやすく話していただき、予備知識として大変役立った。(70代 女性)
- ・小笠原先生の話に感心。そのような先生がいたら在宅医療を奨める。(70代 女性)
- ・在宅医療、賛成です。「寝る・暖める・笑う」良い言葉だと思います。(70代 女性)
- ・病院でも施設でも、きめ細やかな体制を作ればどこでもかまわない。国民は高額な介護保険料を納めているのだから。(70代 男性)
- ・今日の会合に初めて参加させていただきました。大変良かったと思います。
私は家庭を選ぶかも知れません。先生がおっしゃった笑顔で日々を過ごしております。
今日は大変ありがとうございました。(80代以上 女性)
- ・今日は小笠原先生のお話を聴き、大変勇気と生きる希望を教わりました。残された人生を
笑顔で生きたいと思います。今日は最高の時間でした。(80代以上 女性)
- ・早速、安心して死ぬる エンディングノートの準備をしよう。(80代以上 男性)
- ・地域の人との関わりが大切であり、お互い声を掛け合い、周囲のことが良く分かるようにしたい。
地域の人、公民館活動に積極的に参加して、誰とでも親しくなることが重要。(80代以上 女性)
- ・在宅医療に人生最大の幸を感じた。これから地域の会合等で在宅の尊さを話しましょう。
(80代以上 男性)
- ・女房は、死ぬ時は家族に迷惑をかけたくないので入院する、ばかり言っていました。本を読ませたら何も言わなくなりました。今、どう思っているのかわかりません。(80代以上 男性)
- ・小生にとって、極めて有意義な話でした。(80代以上 男性)
- ・いいお話、ありがとうございました。谷口先生に期待します。小笠原先生には死への教示を
いただきました。 1. 見守り 2. 予防対策【病気・認知症】 が一番。
(80代以上 性別無記入)
- ・周囲の理解が大切と思います。(80代以上 女性)
- ・自宅で最期を迎えたいところだが、持ち家を処分してからは高齢者住宅を転々としてきたので
病院で死ぬことになるだろう。自分は献体登録をしている鳥大を切望するが、一度も訪れた
ことがない。早く、鳥大と絆を固めたい。(80代以上 男性)
- ・関係ないことで申し訳ないが・・・お薬手帳に自分の症状・状態を書く欄があればと思う。
同じ薬なら日付だけ記入、薬名は毎回貼付しなくてよいと思う。
社会とのつながりが必要。米子でも在宅緩和ケアができるのですか？ないなら作ってください。
小笠原先生に絶対の安心感を持ちました。鳥大の植木先生も素晴らしかったです。
未来は明るいと感じました。(年齢無記入 女性)